

「親と子」

評価に対するご意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ● 目標 3：父親の育児への参加割合は、60%前後と、まだまだ十分ではない。子育ては 2 人が中心となり、地域の協力も得て行っていくものである。男性小児科医の話だけでなく、育児に参加している男性の事例を積極的に発信し、参加が当たり前の風土を作って欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和 2 年 12 月に設置された、子育て世代包括支援センターを中心として、子育てしやすい地域環境づくりを進めていきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ● (指標 1-1①) 評価できる指標への見直しが必要(例えば妊婦健診を 12 回以上受けた人の割合とか) ● (指標 1.1②) 歯科検診受診率が低下した原因の分析と対応の検討が必要 ● (指標 2.1④) 乳児検診未受診者のフォローは 100%できている。今後も多職種と連携を取りながら把握に努めていただけたらと思う。 ● (指標 2.1.⑧) 評価ができるよう分析を今後もよろしくお願いします。 ● (指標 2.3.①) 受動喫煙率の目標値を父と母で分けているので、評価も父母別にできるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ご意見を踏まえ、次期計画策定の際に反映できるよう検討させていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ● (指標 1.1.②)妊婦の歯科検診受診率は目標まで停滞気味ですので、教室などの機会に引き続き、普及啓発をしていただくとよいかと思えます。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、教室や母子手帳交付時などの機会を活用して、普及啓発をしていきたいと考えています。
<ul style="list-style-type: none"> ● (基本目標 4 の現状評価等について)新型コロナの影響により不安やストレスを抱えるご家庭が増えている背景もあるため、虐待予防の取り組みとして、新設された子育て世代包括支援センターの周知とともに、今後も多職種連携をとりながら取り組んでいただけたらと思います。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 子育て世代包括支援センターを中心として他課とも連携しながら、安心して地域で子育てができる環境を整えていきます。

青年期・成人期

評価に対するご意見	回答
<ul style="list-style-type: none"> ● (指標 3.2.③) 目標値に合わせて男女別に評価できるとよい。 ● (指標 3.4.①) 目標値に合わせて男女別に評価できるとよい。 ● (現状評価等について) 実績値を経年で見ると、改善していると言い難い項目もあり、評価基準も必要と思われた。適正体重を維持している人の割合や運動を実践している人の割合、メタボリックシンドロームの該当者及び予備群の割合などを合わせて評価し、対策につなげられるとよい。栄養については、適切な食事習慣があるかの評価が重要であり、指標の再考が必要と思われた。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ご意見を踏まえ、次期計画策定の際に反映できるよう検討させていただきます。
<ul style="list-style-type: none"> ● (指標 10.1.①, 指標 10.1.②) 過去 1 年間に歯科検診受診した人の割合は増加傾向であるが、歯周病有病者は増加傾向。母子、青年期など、早い時期からの始終業対策が必要と思われる。高齢期のオーラルフレイル予防にもつながる。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 今期計画において重点目標としている項目であることも鑑み、目標達成のための効果的な対策を進めていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ● (指標 3.3.1) 糖尿病の合併症(糖尿病腎症による年間新規透析導入患者数)の分析については、他課からの情報収取により分析・評価につながっており、今後も多指標についても庁内連携のもとに情報収集できるとよい。 	<ul style="list-style-type: none"> ● 引き続き、国保担当(町民窓口課)や協会けんぽと情報共有しハイリスク者のフォローに努めていきます。
<ul style="list-style-type: none"> ● (基本目標 11)「気分転換やストレスコーピングの方法」とありますが、わかりにくい。認知行動療法としてストレスコーピングがあり、その中に問題焦点型、情動焦点型、ストレス解消型に分類されて、ストレス解消型の中に気分転換・好きなことをする、リラクゼーション等が含まれるとなっている。つまり気分転換とストレスコーピングは並列すべきものではないと考える。ストレスコーピングをもう少し説明する表現の方がベターだと思うが、いかがか。 	<ul style="list-style-type: none"> ● ストレスコーピングはまだ一般的に普及は十分にしていない言葉であるため、次期計画時にはわかりやすい表現に変更をしていきたいと思えます。

「高齢期」

評価に対するご意見	回答
<ul style="list-style-type: none">● 高齢者の高齢化が進む中で、目標数値の達成は難しくなってくるかもしれない。そういった状況の中でも、様々な事業を実施し、いきいきと暮らせる町づくりを継続してもらいたい。● 地域では「百歳体操」がいきいき健康課のコロナ感染予防の指導のもと行えた一つの活動だった。● （基本目標4の現状評価などについて）ふれあいサロンなど他者とふれあいの場があることについて、目標達成に向けた取り組みにも記載してある通り、周知の工夫で新規参加者が増えることにつながると思われる。広報。自治会などの周知(回覧), 健診案内に同封, などはどうか。	<ul style="list-style-type: none">● 引き続き, 福祉介護課, 社会福祉協議会, 関係団体などと協働して, 周知の工夫をしつつ, 高齢者支援を進めていきます。

「全体」

評価に対するご意見	回答
<ul style="list-style-type: none">● 地域では「百歳体操」がいきいき健康課のコロナ感染予防の指導のもと行えた一つの活動だった。住民は健康増進に関心が高いので、健康増進への気持が持続できるよう、広報等をお願いします。	<ul style="list-style-type: none">● 今後も住民のみなさまの関心を高めるような啓発や広報等を行っていきます。
<ul style="list-style-type: none">● 全体的に、各目標がどの指標とリンクしているのかわかるように、指標ナンバーを評価分析欄のどこかに入れていただくとわかりやすいと思います。● 昭和町として、今後の情勢なども見据えて重点的に取り組んでいきたいと考えることを数値等の動きから魅せるような評価（まとめ）も必要と思う。	<ul style="list-style-type: none">● いただいたご意見を踏まえて、次期計画策定の際には、わかりやすい評価ができるような資料の作成を工夫していきます。

「その他（ご感想など）」

- 昭和町民の健康の為に、全世代に向けた取り組みを行っていただき、感謝している。
- コロナの対応の最中で、検診のこと、様々な相談、セミナーの実施等々本当に大変でした、ありがとう。
- 令和2年度はコロナ感染症予防のため、健康増進とまではいかなかった。現在の健康維持をすることで精一杯だった。食推、愛育会も予定していた活動はできなかった。
- 「40代は10代の再現である」とある講演で学んだ。全住民を対象としての取り組みは大変だと思う。町の取り組みの成果は年代に合わせて関係機関、団体、地域との連携によると思う。昭和町はきめ細かな連携により成果を上げているのは素晴らしいと思う。ぜひ続けてほしい。
- 登校生の生徒と毎朝歩いているが、時々「今朝、ごはん食べてきた？」と聞くと「パン食べてきたよ」再度「給食もパン？」と聞くとうつむいてしまう。朝食の中身も大事だなあと思っている。密な連携で成果を上げていただければ・・・と願っている。
- 私の社会活動の基本行動。1. 学んで（気づき）、2. 実践し（自分が）良さを知り、3. 行動（仲間づくり）をして広め社会をつくる。資料を確認する内、いろいろ記入しながらの様々な思いの一片だった。